

# お国変われば結婚式も

「アジア各国の「婚礼」の前に「ピナンガン」婚させましよう」と結婚をテーマにした文化交流イベント「アジアブライダルサミット」が十、十一の両日、静岡市駿河区のグランシップで開かれる。主催するNPO法人

## 「地域活性化支援センター」が、参加八カ国中七カ国の婚礼儀式などを紹介している公式ガイドブックから、各国の結婚事情を探ってみた。

インドでは、約九割の花嫁がシルク製のサリーなど伝統衣装を着て婚礼儀式に臨む。式は楽しく華やかに数日間にわたり続き、出席者は四人にも上るといふ。ほとんどがお見合い結婚で、平均年齢は男性が二十四歳、女性が二十一歳。

インドネシアでは、結

婚の前に「ピナンガン」婚させましよう」と結婚をテーマにした文化交流イベント「アジアブライダルサミット」が十、十一の両日、静岡市駿河区のグランシップで開かれる。主催するNPO法人

「地域活性化支援センター」が、参加八カ国中七カ国の婚礼儀式などを紹介している公式ガイドブックから、各国の結婚事情を探ってみた。

インドでは、約九割の花嫁がシルク製のサリーなど伝統衣装を着て婚礼儀式に臨む。式は楽しく華やかに数日間にわたり続き、出席者は四人にも上るといふ。ほとんどがお見合い結婚で、平均年齢は男性が二十四歳、女性が二十一歳。

インドネシアでは、結婚前に「ピナンガン」と呼ばれる儀式が行われる。式には百万円以上をかけるが、離婚率は高く、8・5%に上る。結婚の平均年齢が二十歳のフィリピンでは、ス

は西洋風のウエディングドレスを着用。式では、十三枚のコインを新郎が新婦に渡す「アラスの祝福」や、新郎新婦の肩に無限の愛を意味する八字のロープをかける「ロープの祈り」などの儀式がある。

このほか、中国（漢民族）では、花嫁が赤いチャイナドレスと、カイトウと呼ばれるずきんをかぶるなど、婚礼儀式はその国によってさまざまだ。

地域活性化支援センターの志垣恭平理事長は「各国の文化が色濃く残っているのが婚礼儀式。サミットでは、ファッションショーやシンポジウムのほか、各国の式の発表もある。ぜひこの機会に見てほしい」と来場を呼び掛けている。

（藤川大樹）



①インドネシアでは、結婚前に「ピナンガン」と呼ばれる儀式が行われる ②伝統衣装に身を包むインドの花嫁  
＝いずれもブライダルサミット公式ガイドブックから